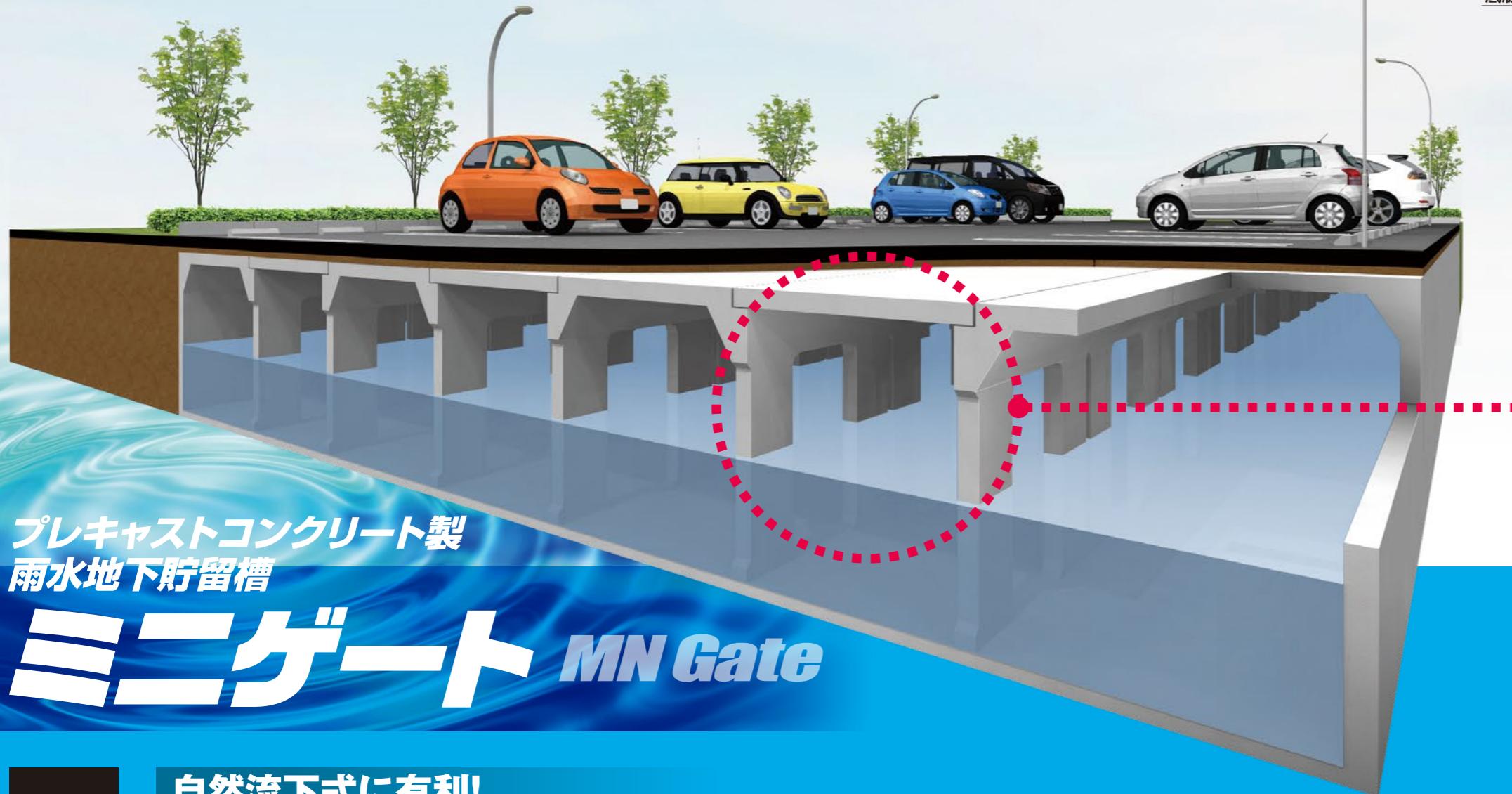




経済性と安全性を両立したプレキャスト式 地下貯水システム。

開発概要

平成15年6月11日に「特定都市河川浸水被害対策法案」が公布、平成16年5月16日から施工されたことにより、水害の恐れのある河川とその流域において国土交通省はもとより地方公共団体の河川管理者や下水道事業者が水害対策として、川道外や宅地への雨水貯留浸透施設の設置が求められています。また、公的機関より指導を受けた民間の宅地造成や商業施設の開発においてもその必要性が高まっています。ミニゲート(Mini Gate)は、経済的で維持管理が容易であることを一番の目標に開発を行ったプレキャスト式地下貯留システムです。



プレキャストコンクリート製
雨水地下貯留槽

ミニゲート MN Gate

特長

自然流下式に有利!

- ポンプ圧送式も可能ですが、内空高を低く規格化する事により、ポンプ等の機械設備が不要な自然流下式にできる可能性が高くなるため、ランニングコスト的にも経済的です。

維持管理が容易!

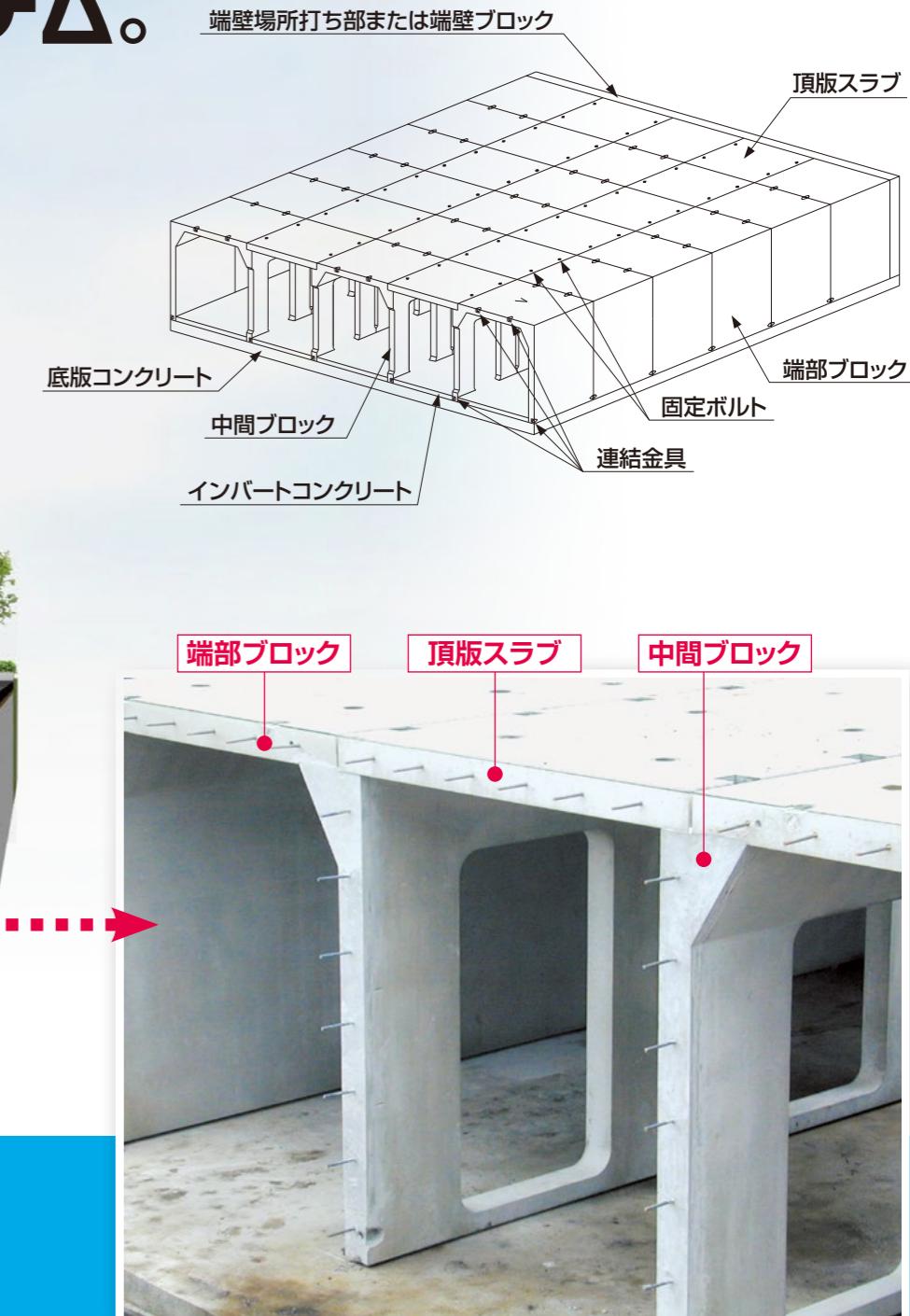
- 内部空間が大きいため、貯留槽内で点検及び清掃等の維持管理の作業が可能です。

敷地の有効活用!

- 地下式のため上部の土地を公園、校庭及び駐車場等、多目的に利用できます。

敷地にあわせて自由な設計が可能!

- 計画敷地面積にプレキャスト部材を自由に組み合わせ可能で、土地を有効利用できます。



工期短縮・コスト削減!

- プレキャスト部材を組み立てるため工期が早く、トータルコスト面で経済的です。

耐震性に優れた構造!

- レベル1・2に相当する地震動に対して耐震性を有する優れた構造物です。

その他の特長

- 製品重量が5t未満で大型重機を必要としないため、施工現場を選びません。(H=2000以下)
- インバートコンクリートにより任意の勾配を設けることが可能です。
- 品質管理の行き届いた(JIS)工場で生産されるため品質が安定しています。



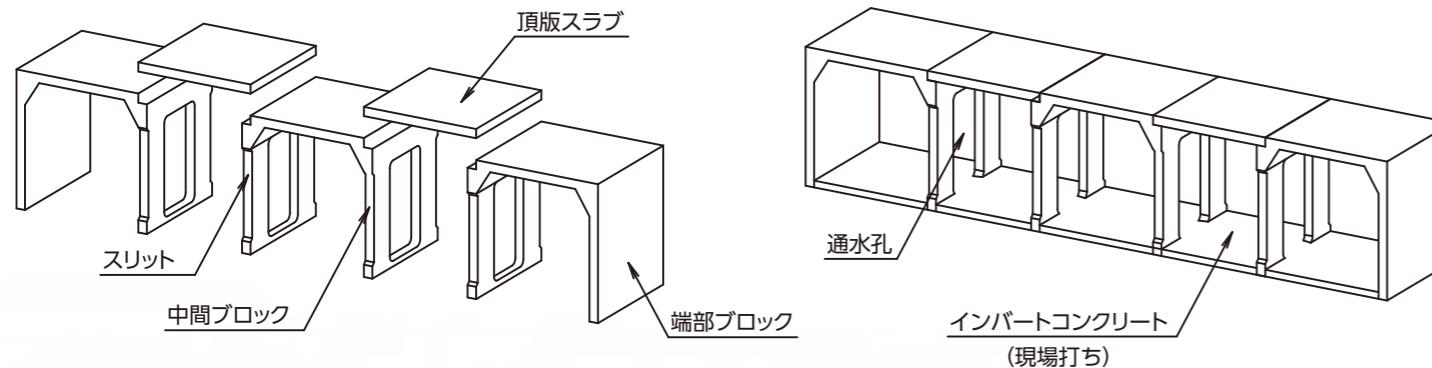
プレキャストコンクリート製 雨水地下貯留槽 ミニゲート MN Gate

【適用条件】 ■土の単位体積重量を19kN/m³として、表の値とする。

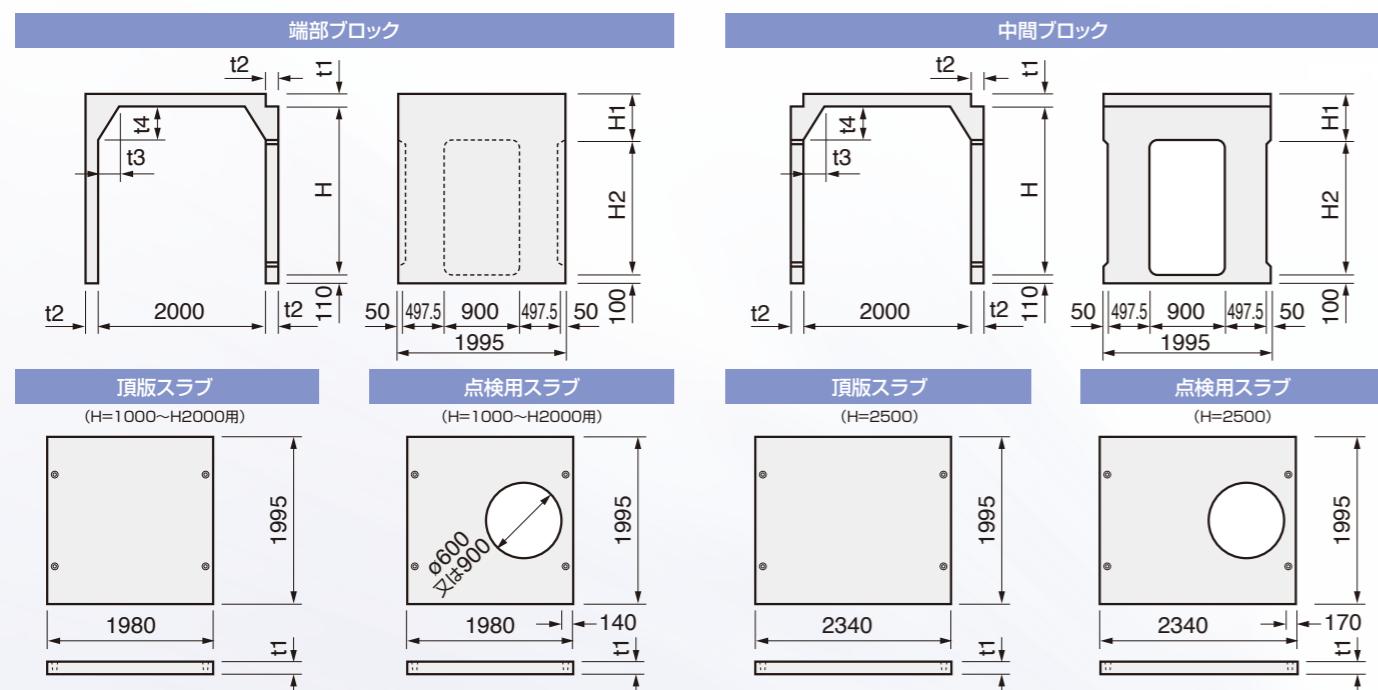
| 荷重の種類 | 最小土被り(m) | 最大土被り(m) |
|--------------------------|----------|----------|
| 積載荷重 $q=10\text{kN/m}^2$ | 0.1 | 1.0 |

※上記の設計条件以外については、お問い合わせ願います。

標準構成図



形状・寸法

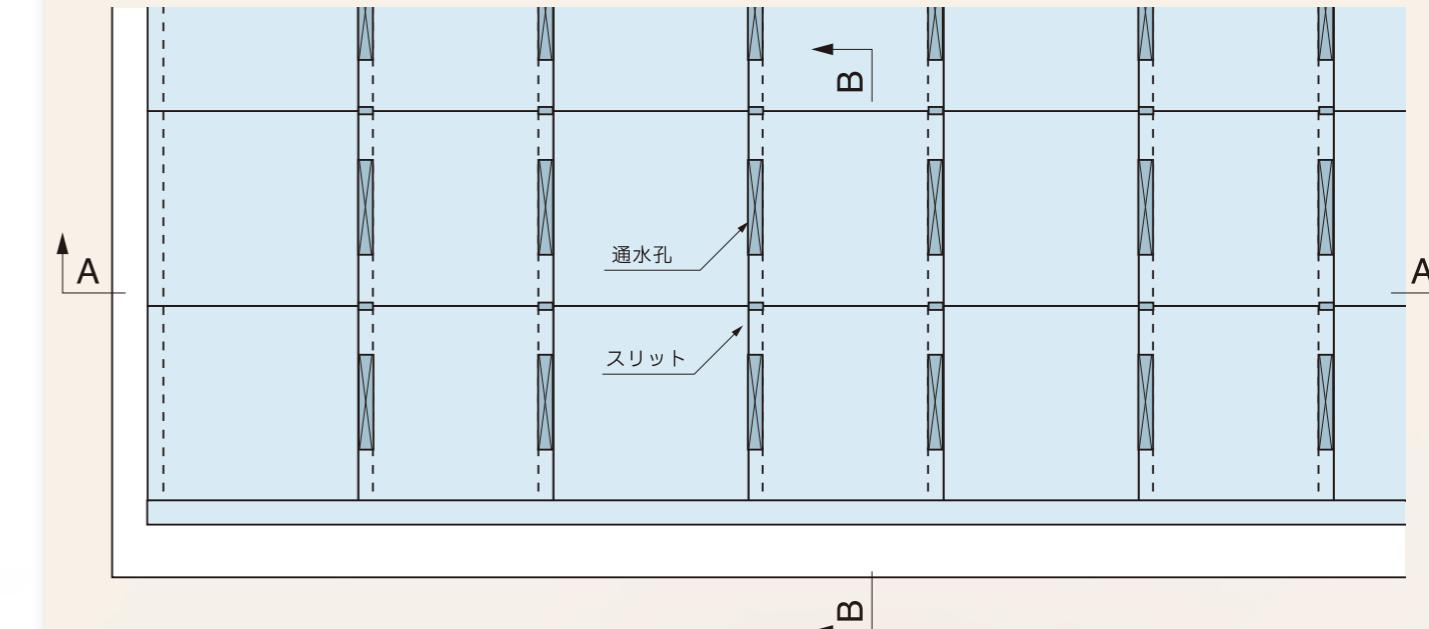


| | 呼び名 | 寸 法(mm) | | | | | | 参考質量 (kg) | |
|-----------|--------|---------|------|-----|-----|-----|-----|-----------|--------|
| | | H | H1 | H2 | t1 | t2 | t3 | t4 | 端部ブロック |
| 本体ブロック | 1000 | 550 | 610 | 150 | 150 | 250 | 400 | 3512 | 3184 |
| | 1500 | 550 | 1110 | 150 | 150 | 250 | 400 | 4066 | 3555 |
| | 2000 | 550 | 1610 | 150 | 150 | 250 | 400 | 4623 | 3927 |
| | 2500 | 580 | 2110 | 180 | 180 | 250 | 400 | 6122 | 5015 |
| 頂版 スラブ | H≤2000 | — | — | — | 150 | — | — | — | 1425 |
| | H≤2500 | — | — | — | 180 | — | — | — | 2005 |

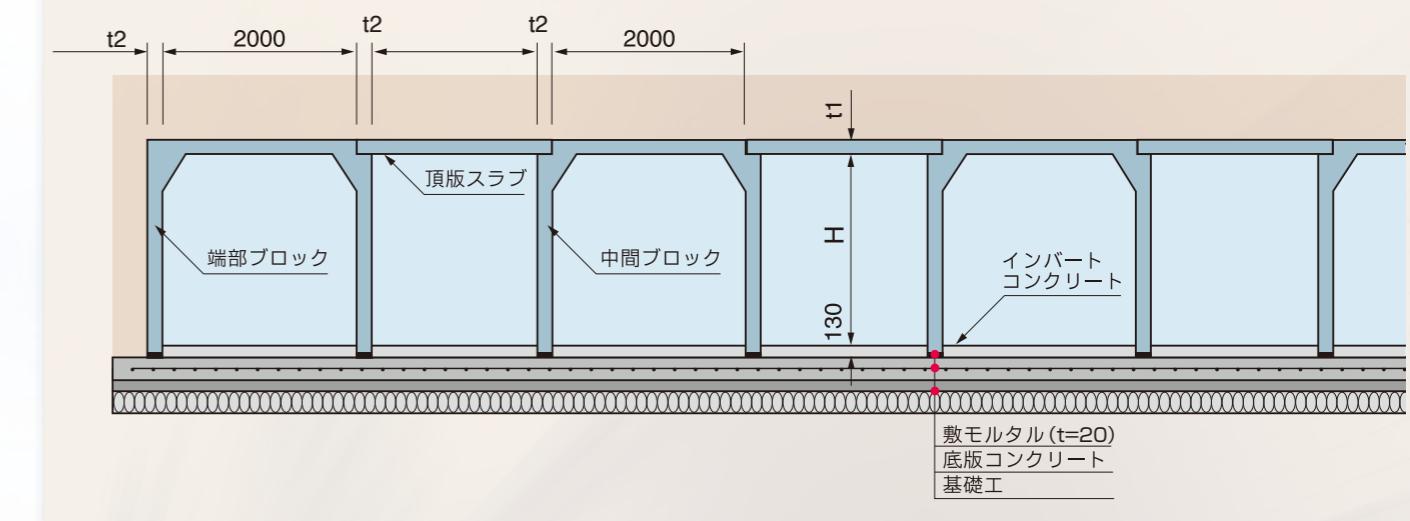
※高さH=700からH=2500までの上記以外の中間高さも工場製作にて対応可能。

組立図

平面図



A-A断面図



B-B断面図

